



Black Friday Madness Hannah Hayden

Long lines. Early hours. Big sales. Danger? What exactly is Black Friday?

Black Friday is the day after American Thanksgiving. It rose in popularity through the end of the 20th century, becoming larger every year. Stores hold huge sales to encourage customers to start their Christmas shopping. To get the best deals, customers line up outside stores for hours before they open. You can even see people camping in tents outside stores for a day or two before Black Friday to try to get the items they want! When doors open, crowds rush in, and every year people are injured by being trampled and from fights over items.

When I was growing up, Black Friday sales started around 5 - 6am, so people would start making very long lines in the middle of the night. But every year they started earlier until stores had pushed their sales so early, they were actually opening in the middle of Thanksgiving day and staying open the whole night! Many workers couldn't enjoy Thanksgiving day with their families anymore because they had to go to work on Thanksgiving to open the stores. In addition, many people grew tired of waiting in long lines all night long. So finally the past few years, Black Friday is starting to change. More stores are staying closed on Thanksgiving Day again. And with the ease of internet shopping, most stores are having their sales online also. The popularity of online shopping even led to the creation of a new holiday, Cyber Monday, which happens just days later. Maybe Black Friday as I knew it is dying. But honestly, I'm happy to see it change. I will enjoy my Thanksgiving Day with my family once again, and do some shopping online in peace from home.

【ちょっと豆知識】宮地晶子

「サイバー・マンデー」とはインターネット上のセールのこと。大手通販のアマゾンや楽天もやっています。cyber(サイバー)とは「コンピューターに関わる、インターネット上の」という意味。そう言えばサイバー・テロだのサイバー・セキュリティだの耳にすることが多くなりましたね。ちなみにサイボウズという会社がありますが、その社名は、サイバーと坊主をくっつけたもので、「電脳社会の未来を担う者」という意味合いだとか。

ブラック・フライデー狂騒曲 ハンナ・ヘイデン

長蛇の列。早朝の大セール。危険? そもそもブラック・フライデーって何かって? これはアメリカの感謝祭、翌日のこと。20世紀の終わりから人気が出て、年々盛大になりつつあります。店みせが大きなセールをして、お客にクリスマス・ショッピングの開始を促す。客は買い得品を手に入れるためには、開店の何時間も前から店の外に並びます。欲しいモノ買いたさに1日2日前からテントでキャンプする人さえ見かけます。開店と同時にどっと人が詰めかけるので、踏み倒されたり、商品の取り合いでケガをする人が毎年出ます。私が育ち盛りの頃は、このセールのスタートは朝5時から6時頃でした。だから長蛇の列ができて始めるのは真夜中。ところが年々開店時間が早くなると、もはや感謝祭の最中に開店して、

そのまま一晩中営業するようになりました。このため働かざるをえなくなる人が増え、家族と感謝祭を楽しむことができなくなりました。それに一晩中並ぶことに疲れる人も増えました。それでやっとここ数年、ブラック・フライデーは変わり始めてきました。再び多くの店が感謝祭には休むようになりました。さらにネット通販が手軽になって、ほとんどの店舗がネット販売もしています。この人気で、今度はその数日後に「サイバー・マンデー」という新しい休日が生まれました。もう私の知るブラック・フライデーは消えつつあるのかもしれませんが。でも正直、これはうれしい変化です。また家族との感謝祭を楽しんで、買い物は平和にネットでしようと思います。

(訳:宮地晶子)

英語教育指導員 宮地晶子の

エイゴノマナビカタ

第174回

マジック・ナンバー

野球の話ではありません。マルコム・グラッドウエルの言うTen thousand hours is the magic number of greatness。「1万時間は大成するのにかかる魔法の数字」のこと。世の中で天才と呼ばれる人達は、知れば知るほど、その分野に没頭してきた人々。有名どころでは、マイクロソフト創業者のビル・ゲイツ。中学2年生から高校卒業まで、毎日毎日1日8時間もコンピュータのプログラミングをし続けた。結果、画面を見ないでホームページが作れるように

なり、天才と呼ばれました。小学3年生から中学3年生まで毎日バッチングセンターに通い続けたのはイチロー。天才と思われがちな人は皆、1万時間以上の時間を1つのことにつぎ込んでいます。1万時間は1日3時間なら10年、9時間やっても3年かかります。「それは無理」と思った人。私は夢を砕くためにこれを書いているのではありません。目安を知ることが大事なのです。誰もがプロを目指すわけではない。でもそれなりの成果が欲しいなら、どの辺までできるようになりたいか、をまず決めましょう。例えば、実用英語検定の場合、3級から2級レベルに到達するには、2000時間相当が必要です。それをやらないで、できない自分を責めることはない。これまで何時間費やしたのか、あとどれだけ自分ががんばれるか、の目安を知りましょう。どうしても没頭できないとしたら、他に大事なことがある、とか、向いてないとか、それぞれの事情があるはず。それならそれでいいと割り切りましょう。まずはあなたのマジック・ナンバー(必要な時間)を決めましょう。